

朝から晩まで、酪農。 三代目、山本英伸です。



岡山県真庭市

日本一のジャージー牛飼育頭数、岡山県真庭市の酪農家です

当牧場ではホルスタイン種を一切含まない、ジャージー種のための飼育を行い、三代続く酪農を営んでいます。現在は家族で飼育できる程度の50頭を飼育しています。牛は体調不良が起きた場合、早期発見がなにより重要で、朝から晩まで牛と過ごし、深夜であっても異変があればすぐに対応できる体制をとっています。当牧場は人工授精から出産、搾乳、そしてまた人工授精をおこない、外から牛を購入する事はありません。そのため、仔牛のころから大切に飼育し、病気の少ない健康な牛を育て、日々の搾乳をしております。糞尿も発酵させ堆肥として全て利用し、土を作り、牧草を栽培し、収穫し、牛に与え、また、堆肥を利用する循環型酪農に取り組んでいます。また、近隣の米農家から稲わらを頂いて牛の寝床に敷き、今度は米農家に堆肥を提供するなどして、地域の役割を担っております。

